

この冬、わが家の除雪機は一度も使わずに役目を終えた。先日、燃料を抜き取り、覆いをかけて収納した。例年だと1、2回は稼働することがあったが、この冬は結局ほとんど雪が降らなかつた。年齢を重ねて雪の片付けが大変になってきたので、ありがたいことであつた。

「ああ、良かった」と思ったが、大変なことが起きてい

た。毎日のように

ウォーキングする

コースの脇にワサ

ビ田があるのだが、日に日に湧き水が少な

くなり、ついに干上がってしまった所があ

る。また、例年よりも水が少ない所もあ

り、心なしかワサビの成長が悪いように見

えた。これは降雪量が極端に少なかつたた

めだろうか。いったい地下で何が起きている

のだろうか。心配である。

私が小学生だつたころは、冬になれば雪

が結構たくさん降り、晴れた夜は氷点下10度以下になることが多かつた。次の日は雪の上を歩いて登校したものだつた。また、地域の人たちが田んぼにスケート場を作つてくれて、げたスケートを早朝から楽しんで

しかし、今はどうだろう。雪の上を歩くことも、田んぼスケートもでき

ない。雪

も降らず、

暖かな冬に

なつてしま

つた。生活するにはありがたいこと

ではあるが、私たちの暮らしの中に

地球温暖化の波が確実にやつてきて

いる。このような状況が続けば、近

い将来、とんでもないことが起きる

のではないかと危惧している。

(安曇野市穂高、荻原義重、76歳)

雪が降らなかつた冬

点差

こうさてん